



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場会社名 グンゼ株式会社

コード番号 3002 URL <http://www.gunze.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 児玉 和

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR室長

(氏名) 富岡 修

TEL 06-6348-1314

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	100,419	△4.9	2,660	32.9	2,732	31.7	△890	—
24年3月期第3四半期	105,614	1.3	2,001	△46.5	2,074	△46.6	△1,306	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △2,790百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △2,227百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△4.65	—
24年3月期第3四半期	△6.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	168,228	106,101	62.4	548.14
24年3月期	168,517	110,197	64.7	568.89

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 105,040百万円 24年3月期 108,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	7.50	7.50
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	133,500	△2.3	1,600	56.4	1,900	94.9	△1,900	—	△9.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	209,935,165 株	24年3月期	209,935,165 株
25年3月期3Q	18,303,989 株	24年3月期	18,369,686 株
25年3月期3Q	191,572,734 株	24年3月期3Q	193,074,298 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）における日本経済は、震災からの復興需要や自動車に対する消費刺激策の効果で一部回復の兆しが見られたものの、欧州を中心とした海外経済の減速に加え尖閣諸島問題を契機とする中国との関係悪化などもあり、企業収益への影響懸念や個人消費を含めた停滞感は払拭されず、総じて厳しい経営環境が続きました。

このような状況において当社グループでは、2年目を迎える中期経営計画『Innovation 4S（平成23年度～平成25年度）』の重点戦略である「成長確保」と「体質強化」を両輪として、激変する市場環境への対応力強化に取り組みました。

機能ソリューション事業は、海外経済の減速や円高の影響などにより受注が減少するなど、厳しい環境が続きました。アパレル事業は、原価改善効果が見られたものの、大手流通のPB（プライベートブランド）商品の拡大などから低価格傾向が続き、全般に苦戦を強いられました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は100,419百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は2,660百万円（前年同期比32.9%増）、経常利益は2,732百万円（前年同期比31.7%増）となりました。また、電子部品分野の固定資産減損損失を計上したことから四半期純損失は890百万円（前年同期は四半期純損失1,306百万円）となりました。

（セグメント別の概況）

<機能ソリューション事業>

プラスチックフィルム分野は、主力の平板収縮フィルムが気温低下により加温飲料向けが好調で、食品包装用途や工業用途も堅調に推移しました。エンジニアリングプラスチック分野では、OA機器用部材は印刷枚数抑制による需要停滞などにより引き続き苦戦しましたが、一般産業用途は半導体向けの新開発商品が伸長しました。電子部品分野は、Windows8関連のパソコン向けタッチパネルの量産準備に入ったものの、業績への貢献は限定的となりました。メディカル分野は、日中関係悪化により中国向けが低調でしたが、国内及び中南米への販売は伸長しました。以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は35,994百万円（前年同期比9.1%減）、営業利益は2,083百万円（前年同期比28.5%減）となりました。

<アパレル事業>

インナーウェア分野では、11月からの厳しい冷え込みにより厚手のシーズン商品が順調でしたが、ベーシック商品は引き続き苦戦しました。一方、カジュアル商品は新商品の先行販売などにより堅調に推移しました。また、引き続き原価改善や固定費削減による収益性の改善に努めました。レグウェア分野は、ファッション商品が苦戦したものの、機能タイツを中心とした防寒アイテムやルームソックス・シューズなど「うちエコ」商品が好調に推移しました。以上の結果、アパレル事業の売上高は55,229百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益は2,504百万円（前年同期比85.3%増）となりました。

<ライフクリエイイト事業>

不動産関連分野は、商業施設「ゲンゼ タウンセンター つかしん」が「にしまち」のリニューアルオープン効果により全体の回遊性が向上し、売上高・来街者数ともに好調に推移しました。スポーツクラブ分野は、既存店の順調な集客に加え、今年度開業した新規2店舗が売上に寄与し、堅調に推移しました。以上の結果、ライフクリエイイト事業の売上高は9,920百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益は556百万円（前年同期比20.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、168,228百万円となり、前連結会計年度末に比べ288百万円減少しました。主な減少要因は、機械装置及び運搬具の減少2,925百万円、投資有価証券の減少2,232百万円であり、主な増加要因は、受取手形及び売掛金の増加3,411百万円、投資その他の資産「その他」の増加2,153百万円（長期前払費用の増加等）であります。

負債は、62,127百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,807百万円増加しました。主な増加要因は、コマーシャル・ペーパーを含む長短借入金の増加3,429百万円であります。

純資産は、106,101百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,096百万円減少しました。主な減少要因は、その他有価証券評価差額金の減少1,988百万円、配当による減少1,436百万円、四半期純損失の計上による減少890百万円であり、主な増加要因は、繰延ヘッジ損益の増加224百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

電子部品分野は主力のパソコン用途の立ち上がりが遅れ今期の受注が予想を大幅に下回り、インナーウェア分野も秋冬物商戦で既存ベーシック商品が苦戦しました。また、電子部品生産設備における減損損失の計上もあり、通期連結業績は前回予想を下回る見込みとなったことから、下記のとおり業績予想を修正しております。

なお、配当予想につきましては前回予想（期末配当7円50銭）から変更しておりません。

平成25年3月期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	137,000	3,600	3,400	1,600	8.35
今回予想 (B)	133,500	1,600	1,900	△1,900	△9.92
増減額 (B-A)	△3,500	△2,000	△1,500	△3,500	—
増減率	△2.6%	△55.6%	△44.1%	—	—
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	136,621	1,023	975	571	2.96

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

そのため、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,078	7,282
受取手形及び売掛金	29,547	32,958
商品及び製品	22,190	21,701
仕掛品	7,177	7,142
原材料及び貯蔵品	6,195	6,017
その他	4,224	3,456
貸倒引当金	△21	△11
流動資産合計	75,392	78,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,386	37,880
機械装置及び運搬具（純額）	16,103	13,178
土地	11,907	11,907
その他（純額）	2,349	2,666
有形固定資産合計	68,746	65,632
無形固定資産	1,916	1,732
投資その他の資産		
投資有価証券	12,538	10,306
その他	9,993	12,147
貸倒引当金	△69	△137
投資その他の資産合計	22,462	22,316
固定資産合計	93,125	89,681
資産合計	168,517	168,228
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,013	7,323
短期借入金	4,798	4,488
コマーシャル・ペーパー	19,600	22,100
1年内返済予定の長期借入金	1,077	1,077
未払法人税等	387	980
賞与引当金	1,239	348
その他	9,228	9,977
流動負債合計	43,344	46,295
固定負債		
長期借入金	7,678	8,918
退職給付引当金	2,174	1,805
長期預り敷金保証金	4,737	4,686
その他	384	421
固定負債合計	14,975	15,832
負債合計	58,319	62,127

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	14,080	14,073
利益剰余金	79,255	76,970
自己株式	△7,655	△7,625
株主資本合計	111,752	109,489
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430	△1,557
繰延ヘッジ損益	△220	4
土地再評価差額金	△400	△400
為替換算調整勘定	△2,582	△2,494
その他の包括利益累計額合計	△2,773	△4,448
新株予約権	253	283
少数株主持分	964	776
純資産合計	110,197	106,101
負債純資産合計	168,517	168,228

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	105,614	100,419
売上原価	78,905	74,267
売上総利益	26,708	26,152
販売費及び一般管理費	24,706	23,492
営業利益	2,001	2,660
営業外収益		
受取利息	9	17
受取配当金	292	226
固定資産賃貸料	473	450
為替差益	—	52
その他	149	203
営業外収益合計	925	951
営業外費用		
支払利息	104	122
固定資産賃貸費用	447	421
為替差損	166	—
その他	134	334
営業外費用合計	852	878
経常利益	2,074	2,732
特別利益		
固定資産売却益	41	19
投資有価証券売却益	—	2
退職給付信託設定益	1,492	1,941
その他	37	86
特別利益合計	1,571	2,049
特別損失		
固定資産除売却損	149	257
投資有価証券売却損	—	158
投資有価証券評価損	2,357	—
退職給付費用数理差異償却額	1,869	1,950
減損損失	—	2,521
その他	59	9
特別損失合計	4,435	4,897
税金等調整前四半期純損失(△)	△789	△115
法人税等	639	984
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,429	△1,100
少数株主損失(△)	△122	△209
四半期純損失(△)	△1,306	△890

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,429	△1,100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△268	△1,988
繰延ヘッジ損益	48	224
為替換算調整勘定	△579	72
その他の包括利益合計	△798	△1,690
四半期包括利益	△2,227	△2,790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,988	△2,606
少数株主に係る四半期包括利益	△238	△184

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリエイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	39,455	57,484	8,674	105,614	—	105,614
セグメント間の内部 売上高又は振替高	135	126	629	891	△ 891	—
計	39,590	57,610	9,304	106,505	△ 891	105,614
セグメント利益	2,915	1,351	461	4,728	△ 2,726	2,001

(注)セグメント利益の調整額△2,726百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリエイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,878	55,128	9,412	100,419	—	100,419
セグメント間の内部 売上高又は振替高	115	101	507	724	△ 724	—
計	35,994	55,229	9,920	101,144	△ 724	100,419
セグメント利益	2,083	2,504	556	5,144	△ 2,484	2,660

(注)セグメント利益の調整額△2,484百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「機能ソリューション事業」の電子部品生産設備については、事業環境の悪化による収益性の低下に伴い、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから、減損損失2,521百万円を計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。